

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和6年度		
施設名	環境と文化のむら	設置年	平成 7 年
所在地	南秋田郡五城目町上樋口字山田沢156番地の1		
指定管理者	むつみ造園土木株式会社		
県所管課	自然保護	課	調整・自然環境 チーム

1 施設の概要

設置目的	里山の自然と触れ合い、及びその自然のもたらす恩恵により築かれてきた文化について学習する機会を提供することにより、人と自然との関係について理解を深め、もって県民の環境に関する意識の高揚に資する。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標					
	生物の多様性の確保と自然公園等の適正な管理					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として施設に求められているもの					
	自然環境学習拠点施設等の利用者数の増加					
施設の面積	51.90ha					
主な設置施設	自然ふれあいセンター、愛鳥山荘、炊事棟、野鳥観察舎					
指定管理業務の内容	料金制	有（利用料金併用制 ・ 完全利用料金制）（無）（指定管理料制）				
	料金設定					
	サウンディング実施対象施設※	×				
	指定期間	R6. 4. 1		～	R11. 3. 31	
	営業期間・時間	通年（月曜日と年末年始は休み）午前9時～午後5時				
	（1）自然ふれあいセンターを主とした使用の許可等に関する業務 （2）施設及び設備の維持管理に関する業務 （3）秋田県環境と文化のむらの利用の促進に関する業務 （4）環境と文化のむらの管理に関し知事が必要と認める業務					
自主事業の内容	○年15回に増やした定期自然観察会の充実、利用者ニーズ把握・反映 ○環境省及び日本野鳥の会秋田県支部との野鳥観察会や作品展示の相互連携 ○自然ふれあいセンター、愛鳥山荘の利用（写真展、企画展） ○五城目町「きやどっこ祭り」等、イベント連携					
直近3年の年間利用者数	R4	12,740 人		R5	11,703 人	
直近3年の年間利用収入	R4	千円		R5	千円	
直近5年の収支決算(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6
収入 計		6,546	6,546	6,585	6,599	7,243
利用料金収入						0
指定管理料		6,546	6,546	6,546	6,546	7,243
その他収入				39	53	0
支出 計		6,276	6,543	6,893	6,602	6,946
人件費		4,191	4,231	4,839	4,662	4,860
光熱水費						1,083
修繕費						210
外部委託費						213
その他経費		2,085	2,312	2,054	1,940	580
差 引		270	3	▲ 308	▲ 3	297

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

＜観点Ⅰ＞ 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定（毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標）

令和6年度 の目標	13,000人
--------------	---------

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	実績	12,509人	達成率	96.2%	
	具体的な 取組と その効果	魅力ある定期観察会の実施と、人気のある自然工作会を多く開き、また県立大学の野外実習や幼保・小学校の教育関係等の連携でセンター等の利用は増えてきたが、猛暑とクマの影響で自由散策の利用者が伸びず目標に達しませんでした			
直近3年 の実績	年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標	16,000	14,500	13,500	
	実績	14,139	12,740	11,703	
	達成率	88.4%	87.9%	86.7%	
令和7年度 の目標 (設定根拠)	目標	13,000人			
	設定根拠	令和5年度より10パーセントの利用者増ではありますが、クマによる風評被害で幼保の利用は伸びてきておりません。天候にも影響は受けませんが、キャンプの人気も出てきておりますので、前年と同じ目標にしました			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

＜観点Ⅰ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	B	施設利用者はほぼ目標には届きましたが自由散策と文化の館の利用者の伸びが少なく、猛暑やクマの影響がいまだに響いております。定期観察会において、人気のあるリースづくりやコケ玉づくりの回数など増やしました、冬季のキャンプも増えました
	県 (所管課)	B	天候不順とクマの出没による目標の未達であり、立地的にやむを得ないもの。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和6年度 の実績	実績	98.0%		
	具体的な 取組と その効果	定期観察会での満足度調査や意見・要望の取り上げなどの取り組み利用者を楽しませる自然との触れ合いなど、散策での安全に気を配ってきました、道路の清掃や広場の草刈などイメージアップの取り組み		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R3年度	R4年度	R5年度	
	98.7%	96.8%	95.7%	

＜観点Ⅱ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	自然を身近に体験できる里山環境です。クマの注意看板や声掛け、電気柵によるイメージアップ等、安全安心を心掛けた運営を行い野外活動をしていただきました
	県 (所管課)	A	引き続き高い満足度を維持している。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	経費の 低減実績	電気代も高騰している中、老朽化による街灯の玉切れなど予定外の経費が掛かるようになってきましたが、できるだけ外注で職員が修繕するよう努めております
	具体的な 取組と その効果	自動ドアの適正管理、お客様にご迷惑のかからない範囲での節電や事務所の冷暖房に気を配りこまめに節電するようにしているほか、職員による修繕を心掛けております

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	収入の 増加実績	—
	具体的な 取組と その効果	—

＜観点Ⅲ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	人件費と光熱費の割合が高いが、質の高いサービスを行うため経費削減は厳しいし、老朽化による修繕も多く出てきておりますが、できるところはスタッフで行って、出来るだけ削減に努めております
	県 (所管課)	B	経費の低減に努めて管理運営されている。物価高騰や人件費の上昇による経費の増加であり、やむを得ないもの。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B:A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	(1) 様々な世代対応、様々な利活用 利用促進加速→実施済み、保育園・幼稚園・小学校への安心安全のPR、自然環境学習の充実、県立大学との野外実習 (2) 施設魅力PR・情報発信の強化→実施済み 近隣市町村の広報誌、その他新聞や地方紙、いろいろな情報媒体、HPの更新 (3) 安全安心対策→ 実施済み クマ対策(電気柵・注意看板・声掛け・草、ヤブ刈り) 巡回強化・ヤマビルハチ、ヘビ、危険生物対応 (4) 他施設・関係機関との連携→実施済み五城目町との連携、井川町教育委員会への利用促進活動他 (5) 自然・里山を生かした有効活用→実施済み キャンプスペースの草刈や清掃での利用促進・自然環境の活用散策 (6) 定期観察会の充実→実施済み クラフトづくりや野鳥観察会等、魅力と楽しく興味を持たせる
--------------	---

＜観点Ⅳ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	施設内でのクマの被害はありませんでしたが、風評被害で利用客が減少しました。また、猛暑のため自由散策の利用者も伸びませんでしたが、定期観察会は好評で人気のあるものは増やしていきたいと思っております。団体の利用者が増加する活動をしていきます
	県 (所管課)	A	適正な管理運営に努めている。

【評価基準】 A:順調(改善点なし)、B:概ね順調(重大な問題点なし)、C:改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

地域の恵まれた自然とふれあい、学習できるエリアとして活用されており、県民の環境保全の意識の増進、環境教育・環境学習の推進等に寄与している。

○施設運営の課題

施設の老朽化

○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

引き続き必要な修繕等を実施しながら管理運営する。施設の老朽化が進んでいるため、将来的な大規模修繕を含めた施設のあり方について検討する必要がある。